守一氏を訪問して私共の考へを訴へに行かうとするものです、藤田氏は皆様も御承知の通り帝國興信所の最高幹部の一人で現に會計部長をして居られるのです。

八丁目の皆様、皆様の中には藤田守一氏を御存じの方がおありでせう、又奥様や息子様達を御存じの方もおありでせう、どうかそれ等の方々は私共の窮狀に御同情下さいまして藤田氏やその家族の人達に御會の節には私共馘首者に成代つて私共の要求を貫徹せしむ可御援助下さいます樣特に御願致す次第であります。

帝國興信所爭議團
全國俸給者協會本部
會長　小池四郎
顧問　阿部磯雄

我等は俸給生活者の勤勞をして正當に評價せしめんことを期す

争議日誌（四）

縮み上つた理事長の妻

◇だが効果は百パーセント

十一日夜近藤小島兩君同樣理事長平松莊一を四谷區須賀町二五の自宅に襲ひ途中同じく左のビラを撒布して押しかく、相憎同人は不在と稱して逃げ止むなく病氣の妻女に面會談判を開始したが何分にも婦人のことゝて不得要領の中に引き揚げたが此の戰術は最初のサラリーマンの爭議としては最も有効なる手段にして當然要領のいかんに拘はらず相當の効果あるものとして注目されてゐる

檄！

四ツ谷須賀町の皆様に訴ふ

私共は帝國興信所を今回不當にも解雇されたものです、然も其内一人を除いた外全部一錢の手當すら與れなかつたのですこの不景氣に然も失業者が巷に溢れ一度失業したが最後容易に就職が出來ない時に當つて解雇手當を一錢も與れないで放り出されたのです、云ふ迄もなく私共には多くの蓄へがありません失業したと云ふ事は同時に收入の道を斷たれた事を意味します收入の道を斷たれたと云ふ事は取も直さず餓死を意味します！會社が經營困難にて私共を馘首したのなら一應止むを得ないとも思はれます、所がさうではなく私共を馘首した翌日數名の社員を採用してゐるのです、皆樣このあまりに非道い興信所の仕打に對して私共は文字通りの生んが爲の戰を鬪つて居ります、けれ共會社は頑として私共の正しい要求に應じ樣としません、それで私共は今日この須賀町二五の平松莊一氏を訪問して私共の考へを訴へに行かうとするものです、平松氏は皆樣も御承知の通り帝國興信所の最高幹部であるところの理事長をして居られるのです

須賀町の皆樣、皆樣の中には平松氏を御存じの方がおありでせう、又奥樣や息子樣達を御存じの方もおありでせう、どうかそれ等の方々は私共の窮狀に御同情下さいまして平松氏やその家族の人達に御會の節には私共馘首者に成代つて私共の要求を貫徹せしむ可御援助下さいます樣特に御願致す次第であります

三度び藤田方に

十二日夜更に近藤、植村、小島三氏は『再び木挽町八丁目の皆樣に訴ふ！』のビラ數百枚を撒布しつつ前記會計部長の藤田守一を自宅に襲つたが早くも三氏の押しかけるを察知して夫妻と子供三名の家族は女中に行き先も告げず夕刻歸宅後何處かへ姿を晦してしまつた爲め已むなく一時爭議傳單（ビラ）を貼付しつゝ引揚げ更に深更三度同家に押し掛けた

檄

再び木挽町八丁目の皆樣に訴ふ

私共は一昨晩木挽町八丁目十一番地の藤田守一氏を訪問して不當解雇絶對反對、複職要求をしに參りました帝國興信所の爭議團の者です

今晩再び藤田氏を訪問する理由を申上げて皆樣の御援助を御願する次第であります

今晩私共は重ねて復職要求をすると同時に藤田氏をして帝國興信所を即時辭職する樣勸告に參つたものであります

なぜ私共は藤田氏に辭職勸告をするか？

一、帝國興信所の仕事は人が惡るくなくては出來ない事
二、然かもその帝國興信所の調査たるや嘘出鱈目が多いとの評判が專らなる事
三、社長の後藤武夫は有田音松や野依秀一と並び稱せらるゝ有名な札付であつて一緒に仕事をすればする程身を誤る事
四、帝國興信所、日本魂社は所謂反動思想の巣窟で新興勤勞階級の正面の敵としての役割を果すものでこうした會社の重役は當然全民衆の『ウラミの的』となるのは必至である事等々

敷へ上ぐれば切りがないが、とにかく帝國興信所の樣な會社の重役を長くやるのは藤田氏の爲にも余り良い結果は見ないであろうし、又私共の正しい要求すら聽き入れない樣な非道い社長を助けて居れば近き將來に必ず全民衆の敵にならねばならぬから、私共は藤田氏の爲にも社會の爲にもこの際帝國興信所の重役を辭職するのが最も賢明な方法であると信ずるものであります、どうか皆樣も機會を見て氏に對し同樣の勸告あらんことを切望します

全國俸給者協會

本部　東京市外高田町上り屋敷一一一七
大阪支部　大阪市天王寺區大道三ノ七六
北豊島支部　東京市外高田町雑司ヶ谷七〇〇
大日本製氷支部　本所區千歳町大日本製氷株式會社營業所内

社會主義か？資本主義か？
英議會に於ける歴史的討論
小池四郎譯（三十錢）

個人の權利の無統制な發動に基く社會か！『公』によつて統制される有機的社會か！英勞働黨の最高幹部と自由保守兩黨の領袖との間に鬪はされた大論戰！

プロレタリア經濟學理論
原　彪著（三十錢）

資本主義機構に對する理論的暴露には是非ともプロレタリア階級獨自の理論を有たなければならぬそのために我々の經濟學理論を充分に把握することが必要だ

階級論
小池四郎著（三十錢）

諸君は階級なる文字について絶えず叫ぶ。だが階級とは何ぞやに就いて科學的な考察をなしたであらうか？苟くも階級の理論なくして我々は何にを語り、何にを果し得るか？階級論こそ諸君の希求を充足するものである。

社會民主々義か共產主義か？
カール・カウツキー著
赤松克麿譯（三十錢）

社會主義か資本主義かによつて我我は社會主義を採用した。而して次に起るべき問題は、共產主義か！社會民主々義か！である。はたして何れが是か？